

まつどミュージアム

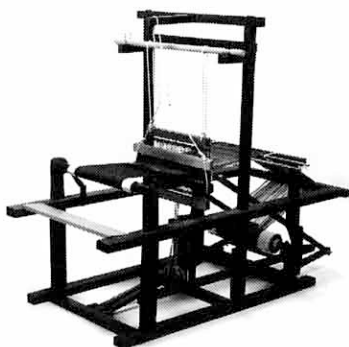
MATSUDO MUSEUM No. 16 2007年(H19)8月

●今号の表紙

手織りの袋

この袋は、松戸市幸谷地区の安産などを祈願する
女の人集まりである観音講の食事用のお米を集めた袋です。
この藍色、水色、渋い金茶色の三色の単糸(撚り合わせていない糸)の
細い縞柄の布は、地元で織られたものです。
市内の農家の倉には、今では使われなくなった
高機や糸車などの機織りの道具が残されています。
70年ぐらい前には松戸市域でも機を織っている人がいたといいます。
この袋は、信仰行事の資料であるとともに、
手織りの技術を示す資料だといえましょう。

コレクション紹介



高機(たかはた)



昔、小学生だったみなさんへ

この展覧会は、現在の私たちの生活のなかで失われていった生活の知恵や技を子どもたちに伝えようと企画しました。



平成19年度学習資料展

昔のくらし探検

今から70年ぐらい前の松戸の

農家のくらしを展示して、衣食住や農業などの

私たちの身近な生活の歴史を紹介します。

この展示を様々な世代の方に見ていただき、

かつてのくらしのなかで息づいていた

竈かまどでのご飯の炊き方などの生活の技を

語り伝えていただければと願っております。



昔のくらし体験教室

風呂敷ふろしきを使ってみよう

今、エコバッグとともに注目されている風呂敷の包み方を、10分間程度で簡単に体験します。

7月28日～9月29日までの毎週土曜日

午後1:00～4:00

講師／博物館友の会会員有志

会場／企画展示室 費用／無料 定員／なし

★応募の必要はありません。

〈会場〉

松戸市立博物館 企画展示室

〈会期中の休館日〉

7/30(月)・8/6(月)・8/13(月)・8/20(月)

8/24(金)・8/27(月)・9/3(月)・9/10(月)

9/18(火)・9/25(火)・9/28(金)

7月28日(土)
～9月30日(日)

観覧無料

予告

企画展

大名の旅

本陣と街道

10|13(土) - 12|2(日)

江戸時代の街道は、参勤交代などで大名が通行するために整備され、宿場には大名など特別な人たちの宿泊施設「本陣」が設けられました。今回の企画展では松戸宿の本陣などから水戸街道の歴史を考えます。

関連講演会 11/3(土) 13:30～15:00

講師 / 渡辺和敏氏(愛知大学教授)

※詳しくは4面をご覧ください。



広重画「東海道五拾三次 関」(狂歌入東海道)

成果は友情の賜物

松戸市立博物館学芸員 中山 文人

「なぜ、松戸で、織田信長!？」 昨秋、企画展示「戦国の城をさぐる」をご覧になった皆さんから、多く寄せられた質問です。関東へは来なかった信長の古文書が教育委員会所蔵? それに、本当に本物なのか?

当地ゆかりの洋画家松岡壽氏の、ご遺族寄贈品に埋もれて幾星霜、ひよんな偶然で「発見」した朱印状が2点。見つけた本人も最初は、「本当に本物?」です。墨の状態や筆の勢い、紙質、折り方と汚れ具合、言葉遣い等々は問題なし、表具は新しい・・・と、ここまでは経験です。史料集『増補・織田信長文書の研究 上・下』を見る。載ってない・・・。偽文書か、はたまた学界未紹介か。しかも、かの有名な「天下布武」印の最初の使用例とは! 同じ月に出された朱印状は、どれも同じ文章である

ことに留意しつつ、かねてから頂戴していた安土城考古博物館『信長文書の世界』をチェック。充実した展示図録で、右筆(実際の執筆者)までわかる。筆者は武井夕庵と断定。紙や朱印の寸法もおおむね一致。他の文献から、宛て先の人物は信長の家臣で、松岡家は直系の子孫に当たることも判明。これでほぼ決定です。安土と長浜市の学芸員へ所見と写真を送り、意見を求める(長浜市の方は古文書を見に来て下さったほど)。晴れて本物と相成りました。

学芸員にはそれぞれ専門分野があります。我が館で言えば、考古・民俗・歴史・・・でも、当たり前ですが、専門分野のすべてに精通しているわけではありません。壁に突き当たった時のために、「当面、関連薄いなあ」と思いながらも専門書に小遣いを叩き、他の研究者と連携を取っているとも言えましょう。私の能力でできることは、ほんのわずか。調査・研究も展示も人々の協力(友情?)に負うところ大、というお断りでした。

アンケートボックスの中の声

今回は以下のようなご意見をいただきましたので、お答えいたします。

博物館の案内パンフレットの地図がとてもわかりにくくて不親切だと思う。自転車で来たので探すのがたいへんだった。(50代 男性)

博物館より：縦長のカラーパンフレット、あるいは年間「行事案内」の地図のことですね。確かにわかりやすさという点では足りない部分があったようです。よりわかりやすい地図の検討に入り、次回増刷の際などに差し替えます。

アンケートは「ここで立って書け!」ということですか。(50代 男性)

博物館より：立ったままアンケートを書くのが難しいことはご指摘のとおりです。早速筆記用の机と椅子を用意させていただきました。

土偶や土器等もすごかったけど、竪穴住居がとてもすごかった。説明がとてもわかりやすかったです。また今度来ます。(10代 男性)

博物館より：博物館では、常設展示室に常時2名の解説員を配置して、来館者の質問にお答えするほか、日に2回(午前10:00～と午後2:00～)、常設展示解説ツアー(約30分・要観覧券)を開催し、展示内容をわかりやすく説明しております。また、野外には松戸市内で発掘された竪穴住居を三棟復元しておりまして、日々、一棟づつ午前10:00～12:15・午後1:00～3:30の間開放し、竪穴住居の中で焚き火を囲みながら縄文時代の生活について解説員が説明いたします。なお、竪穴の見学は無料です。21世紀の森と広場、森のホール21にお越しの際はどうぞお立寄りください。



縄文の森にある復元竪穴住居

今後とも皆様のご意見を参考に、一層親しまれる博物館へと努力してまいります。ご協力お願いいたします。

行事案内

展示

学習資料展「昔の暮らし探検」
開催中～9/30(日) ◎観覧無料
詳細は2頁をご覧ください。

企画展「大名の旅 一本陣と街道」
10/13(土)～12/2(日)
詳細は2頁をご覧ください。

講座・講演会

学芸員連続講演会(市立博物館・友の会共催)
展示でみる・歩いてみる松戸の歴史
定員/80名(当日先着順)
費用/200円(当館友の会会員は無料)

⑤「各地の博物館に展示された戦後生活を考える」
8/18(土) 13:00～15:00
講師/青木俊也(当館学芸員)
場所/常設展示室・講堂

⑥「中流の夢と博覧会～家庭博覧会・児童博覧会～」
9/15(土) 13:00～15:00
講師/山田尚彦(戸定歴史館学芸員)
場所/講堂

⑦「中世の過去帳を読みこむ」
10/20(土) 13:00～15:00
講師/中山文人(当館学芸員)
場所/講堂

⑧「本陣と街道」
11/17(土) 13:00～15:00
講師/小高昭一(当館学芸員)
場所/常設展示室・講堂

「昭和の暮らしを考えるI」
9/2(日)・9/16(日)・9/30(日)
10:00～12:00[全3回]
内容/今日の生活がどのようにできてきたかを知ることで、その特質・問題点などを考えます。
講師/青木俊也(当館学芸員)
場所/実習室
費用/無料
定員/30名(応募者多数の場合は抽選)
申込/往復ハガキ(1人1枚)に住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、松戸市立博物館「昭和の暮らし」係へ。8月16日(木)必着。

「歴史を語る① 昭和の暮らしを支えた工業製品～プラスチックが生活を変えた」
9/17(月・祝) 13:30～15:00
講師/中村次雄氏(元日本工業大学教授)
場所/講堂
費用/無料
定員/80名(応募者多数の場合は抽選)
申込/往復ハガキ(1人1枚)に住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、松戸市立博物館「歴史を語る①」係へ。9月4日(火)必着。

体験教室「縄文土器をつくる」
10/13(土)・20(土)・21(日)・11/10(土)
10:00～15:00[全4回]
講師/河野重義氏(元あきる野市文化財審議委員)
場所/実習室
費用/材料実費
定員/16名(応募者多数の場合は抽選)
申込/往復ハガキ(1人1枚)に住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、松戸市立博物館「縄文土器をつくる」係へ。10月2日(火)必着。

企画展関連講演会「江戸時代の本陣」
11/3(土・祝) 13:30～15:00
講師/渡辺和敏氏(愛知大学教授)
場所/講堂 費用/無料
定員/80名(応募者多数の場合は抽選)
申込/往復ハガキ(1人1枚)に住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、松戸市立博物館「企画展関連講演会」係へ。10月18日(木)必着。

特別講演会「本陣の建築について」
11/11(日) 13:30～15:00
講師/濱島正士氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)
場所/講堂 費用/無料
定員/80名(応募者多数の場合は抽選)
申込/往復ハガキ(1人1枚)に住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、松戸市立博物館「特別講演会」係へ。10月25日(木)必着。

ハイビジョン 入場無料

①13:15～②15:15～上映(土・日・祝は11:00～も上映します)
会場/講堂 費用/無料

- 8/1(水)～31(金)
さわやか自然百景「知床・夏」(15分)
- 9/1(土)～30(日)
さわやか自然百景「秋・富良野の樹海」(15分)
- 10/2(火)～31(水)
国宝探訪「四季を映す大原の弥陀～三千院・阿弥陀三尊坐像」(29分)

※ 8/18(土)・9/15(土)・17(月・祝)・10/20(土)は講演会のため13:15～の上映は中止します。

エントランス展示

開催中～9/30(日) 仏伝図浮彫「四天王奉鉢」・「梵天勸請」(パキスタン、2～5世紀)
10/2(火)～11/30(金) ガンダーラ浮彫「初転法輪」・「火神堂内毒龍調伏」(パキスタン、2～5世紀)
毎日10:00～14:00 30分間(参加者は観覧料が必要です)

ガイドツアー(常設展示解説)

ハイビジョン上映の際、音声の聞き取りにくいお客様のために一部の席にヘッドフォンをご用意しております。係員に声をおかけください。

利用案内

- 開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは翌日)、館内整理日(毎月第4金曜日)、年末年始(12月28日～1月4日)
- 常設展観覧料

一般	高校・大学生	小・中学生	*()内は20名以上の団体料金です。企画展・特別展は別料金となります。
300円(240円)	150円(100円)	100円(60円)	

*土曜日は小・中学生の観覧料無料。*市内在住で70歳以上の方は観覧料無料。
- 交通案内
 - ① 新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または、松戸新京成バス小金原団地循環・北小金駅行「公園中央口」下車1分。
 - ② JR常磐線北小金駅下車、松戸新京成バス八柱駅行「公園中央口」下車1分。

※ 来館者専用の駐車場はありません。21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用下さい。

ホームページにもアクセスしてください!

松戸市立博物館

検索

